### system loggers

現在設定されているすべてのロガー（ログ収集器）の状態を照会します。管理者権限が必要です。

#### 構文

system loggers

#### 説明

コマンドを実行すると、以下のフィールドが表示されます。

* namespace: ロガーが属するグループ名（ログプレッソ・ローカルで実行されるロガーは local グループを意味し、それ以外はロガーが配置されているセントリーの名称（guid）で表示されます）
* name: ロガーの名称
* factory\_namespace: ロガーファクトリーが属するグループ名
* factory\_name: ロガーファクトリーの名称
* status: 現在のロガーの状態（running: 実行中、stopped: 停止）
* interval: ロガーの実行インターバル（単位: ms）
* cron\_schedule: 予約された実行スケジュール
* log\_count: 現在までに保存されたログの件数
* drop\_count: ドロップされたログの件数
* log\_volume: ログデータファイルの総容量（バイト単位）
* drop\_volume: ドロップされたログデータの総容量（バイト単位）
* last\_start\_at: ロガーが直近で開始された時刻
* last\_run\_at: ロガーが直近で実行された時刻
* last\_log\_at: 最後に受信したログの到着時刻
* last\_write\_at: 最後にログを受信した時刻

ロガーファクトリーとは、それぞれ異なる機能を持つロガーのタイプグループを指します。ロガーファクトリーはノードごと（ログプレッソ（local）またはセントリー（guid））に領域が分かれています。同じロガーファクトリーであっても、localネームスペースに属するものとセントリーのネームスペースに属するものは、異なるロガーファクトリーとして扱われます。